

JESA スタイルチェックリスト

下記ガイドラインに従い、投稿前に原稿スタイルを確認してください。

- ・ 書誌情報は削除 (TeX で原稿を作成している場合 , `\documentclass[JESA]{tjsass}` とする .)
- ・ ページ番号は不要
- ・ 論文タイトル : 各単語の 1 文字目が大文字
- ・ 著者名 : Family name は大文字フォントサイズ 10pt , 2 文字目以降のフォントサイズ 8pt
- ・ 第 1 著者名の前に "By" を入れる .
- ・ 著者が 3 人以上の場合 , 各著者名の間にカンマ , 最後の著者名の前は "and" とする . 最後の著者名の後にカンマは不要
- ・ 著者名の右肩に所属機関の番号を 1) のように入れる . 1) はカンマの後
- ・ 所属機関名はイタリック , city name を忘れず入れること .
ただし , 県名は不要 . 東京 23 区特別区の場合は , Tokyo を入れる .
- ・ キーワード : 各単語の 1 文字目は大文字
- ・ アブストラクト開始は 4 文字インデント
- ・ 記号表 : 数字順に続きアルファベット順 (A , a , B , b , C , c , ... , Z , z) , その後 , ギリシャ 文字 (でアルファベット順 : α , β , γ , ...) , 添え字も同様
- ・ パラグラフ開始は 2 文字インデント
- ・ Major-heading タイトルは , 各単語の 1 文字目は大文字
- ・ Major-heading タイトル後の文章は , 1 行空白行を入れてから開始
- ・ Sub-heading タイトルは , 最初単語の 1 文字目だけ大文字
- ・ Sub-heading タイトルと Major heading タイトルの間には 1 行空白行を入れる
- ・ Sub-heading タイトルの開始と 1 つ前の文章の間には空白行は入れない .
ただし , 最初の Sub-heading は例外とし , 1 つ前の文章との間に 1 行空白行を入れる .
(Template ファイルの 3.1 節 , 4.1 節の例を参照)
- ・ heading 番号と heading title 文字との間は 2 文字空白
- ・ 参考文献引用の "右肩)" は , カンマ , ピリオドのあと
- ・ 図の解像度は十分なものに
- ・ 他の文献等から取った図表を含む場合 , 著作権委譲許可を著者自身で取ること .
- ・ 図・表キャプションの最後にピリオド
- ・ キャプション文字は最初の単語の 1 文字目だけ大文字
- ・ 図キャプション Fig. x. (2 文字空白) キャプション. (x は図番号 , 図番号の後にピリオドが必要)

- ・表キャプション Table x.(2文字空白)キャプション.(xは表番号,表番号の後にピリオドが必要)
- ・図・表キャプションは1行の場合はセンタリング,複数行に渡る場合は最後の行だけ左揃え,それ以外の行は両側揃え
- ・図・表キャプションと本文の間には1行空白行を入れる.
- ・表の最初と最後の横線は太線 それ以外は普通の太さの線.2重線にしない.縦線は入れない(表の縦のカラムの区別がつきにくいときのみ縦線を入れる.)
- ・図を参照する際,文章開始時は,"Figure x"と書く(文頭では"Fig. x"とは書かない.)文中では"Fig. x"と書く.Fig.と図番号xの間に1文字空白をいれる.
- ・1つのFigureに複数の図があり,区別するときはFigure中に(a)(b)のように丸括弧で囲んだ識別アルファベットを入れる.本文中での参照は,文章開始時では,"Figure 1(a) (Figures 1(a) and 1(b))",文章中では,"Figs. 1(a) (Figs. 1(a) and 1(b))"とする.

- ・式を参照する際,文章開始時は,Equation (x)と書く.
(文章中では,Eq. (x)と書く.Eq.と(x)の間に1文字空白を入れる.)
- ・表を参照する際,文章開始時,文章中ともに"Table x"と書き,省略しない.
- ・節を参照する際,文章開始時,文章中ともに"Section x"等と書き,省略しない.
- ・式はセンタリング,式番号は右揃え丸括弧で(1)のように囲む.

- ・参考文献 heading (References)はセンタリング
- ・参考文献

著者名:全員書く: Family name, First name のイニシャル.

論文タイトルは各単語の1文字目は大文字(冠詞,前置詞は除く)

Middle name のイニシャル.と First name のイニシャル.との間に1文字空白を入れる. 3

名以上の場合,最後の著者名とその前の著者名の間は,"and"とする. 6名以下の場合
は,著者名を全員記載する.

著者名が6名よりも多い場合にのみ,6名分の著者名を記載し,以降を et al.と省略することは可能

最後の著者名と論文名の間はコロン:

日本語の参考文献の場合,"(in Japanese)."を最後に入れる.

書籍の場合:

著者名:書籍名(イタリック),出版社名,出版都市名,年,該当ページ.年は丸括弧で囲まない.

雑誌の場合:

著者名: 論文名, 雑誌名, 巻号年ページは, volume number (year), pp. xx-yy. ists 特集号の場合には, 巻号年ページは, volume number, ists xx (year), pp. xx-yy. のように issue number も入れる.

ページ番号の間は- (ダッシュ)

論文名各単語の1文字目は大文字

論文名はダブルコーテーションで囲まない.

雑誌名はイタリック, Journal of XX などの雑誌名は J. XX と略記表記する.

volume number はボールド, volume number と (year) の間に 1 文字空白

doi は不要

page が存在しないオンライン論文の場合, article ID 等を入れる.

pp. と xx-yy. の間に 1 文字空白

proceedings (国際学会) の場合:

著者名: 論文名, Proceedings of 大会名, 開催都市名, 開催国名,
当該ページ(存在すれば) または論文番号, year.

Proceedings of 大会名はイタリックにしない.

Proceedings が紙媒体で配布されていない場合, Proceedings of 大会名の部分は, 大会名 のみにする.

年は丸括弧で囲まない.

大会の開催回数(序数)の th は上付きにしない.

AIAA paper の場合: 大会開催場所は不要. 著者名: 論文名, AIAA Paper year-ID, year. と書く.

Web 上の文献 (URL) の場合, "(accessed Month day, year)." を最後に入れる. Web 上の文献で日本語の場合, "(in Japanese)(accessed Month day, year)." の順番とする.